



vol.2 まつうら なな 松浦奈々さん

Q. 盛星との出会いを教えてください。

A. フォトサーが1千人いる頃から熱烈なファンでした！去年ビジュアルブックの配布会で、趣味のフィルム写真を見てもったのをきっかけに、作品が投稿されるようになりました。

Q. 自慢ぐるしい1年でしたね！

A. 盛星のインスタレーション・刺激を受けて、その日のうちに写真展の会場を予約していました（笑）「30%の完成度でもいいから、まずはやってみる」という言葉に背中を押されました。個展を2回、グループ展にも参加して、大忙でした。

Q. 盛星と関わってみてどうでしたか？

A. 教えて下さる人や、支えてくれる仲間に出会えたのが大きかったです。自分がやってきたことを作品として認めてもらえるのも、え？いいの？という気持ちです。表現することが恥ずかしいことじゃないと感じられるアットホームな居場所です。

Q. クリエイターを目指す人にひと言。

A. やりたいことを口に出して言うといいです。苦手なことだって、言えばそれが得意な人が現れます。仲間があれば知恵も広がるし、やる気も何十倍になります。あとは続けること。自分はここにいるよと発信すること。形はどうあれ表現続けてほしいです。



盛星インターンシッププログラムでは、チームでクリエイティブを行う醍醐味を味わいました。

U.M.S Unknown Morioka Story まちの雑学

今年の1月、55年に渡るスキー場の営業を終え、最終日までご近所スキー場で賑わった岩山。子供の頃は動物公園、運転免許を取れば展望台ドライブと、盛岡市民ならいくつも思い出のあるエリアです。そんな岩山に、かつて温泉宿があったというのをご存知ですか？岩山大飯店という豪華な料理店もあり、夜も宴会で盛り上がるレジャーポートだったんだとか。そうそう、岩山と言えばZOOMOのリニューアルも楽しみですね。



岩山、フォーエバー。

盛岡BSでは、「盛岡にいつか住んでみたい」「盛岡の暮らしが知りたい」方のために、「観光ではない盛岡」を巡るまち歩きのツアーを随時受け付けています。

2019年11月に行った「盛岡」という星をふんわり歩くツアーはこんな感じでした。

参加希望の方は「盛岡という星」Instagramや公式ウェブサイトのフォームへお問合せ下さい。また、月に1回程度「まち歩きツアー」も開催中。公式webサイトやInstagramの告知をお見逃しなく！



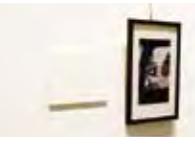
盛岡のラムドマーク岩手銀行赤レンガ館を見学。ござさんや制定さん、開口屋さんへ、焼酎が入っている蛤(ハマグリ)をご紹介。

一人でいらっしゃるおじさん がいて、もし私が盛岡に住んだらきっと仕事に疲れたとき彼のようにここにやがって帰らうっと感じました。街がすみがけていた絵のようきれいでした。

今年の日焼け止めどれがいいのか 分からなくて一気に4本買いました。同時に検査。効率。（盛星編集部／清水）菜園スタバの見送りのあいさつが「またおでんせ～」だった。またおでるね。（盛星編集部／八重樫）一緒に足の足が日に日焼けで日々ボッキー化。このどこでビタービタになるのか。（盛星編集部／菅原）盛岡バスセンターの温浴施設のことが気になつて仕方ありません。楽しめ。（盛星編集部／天間）早くしたAirPodsの片耳。しばらくはGPSで確認できますけど、今はもういい。（盛星編集部／作山）さん太鼓の練習を始めました。ダンカンドラムが頭をループしている（盛星編集部／山根）ジグソーパズルをするときに首を痛めない姿勢を模索中。でも床の上でやるのは譲れないのです。（地域おこし協力隊／佐藤）わたしの最近の水筒の中身は質賀清々。身体の中で満々盛岡が流れています。（移住コーディネーター／馬場）最近は、アーケードやビル影の切れ端でこまめに日傘をさしたりたんだりすきが悩んでいます。（まち歩きコンシェルジュ／北田）つい黒い服を選んでしまいますが、この夏は「カラフルな自分になる」をモットーに洋服選び中です！（地域おこし協力隊／山本）



盛岡という星でBASE STATIONの人々

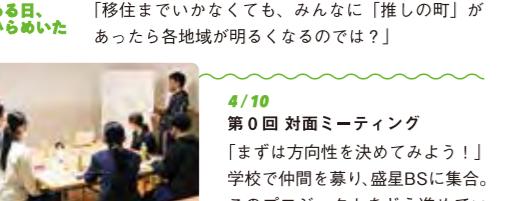


盛星インターンシッププログラムでは、チームでクリエイティブを行う醍醐味を味わいました。

盛岡という星で タンキュー部

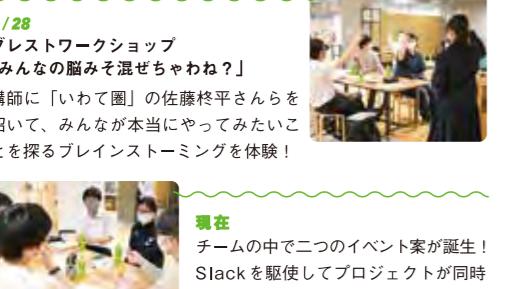
高校生の探究活動をもっと楽しくするための盛星プログラム、タンキュー部。盛星BSではこんなプロジェクトが進行中！

活動名 いわて推しまちプロジェクトU-18

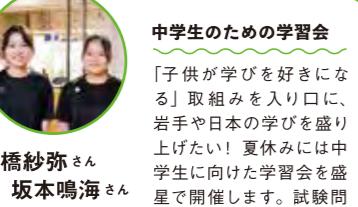


三浦聰悟さん
盛岡一高 2年生

学年は別の、人を評価する貢献として、個性が見える課外活動は魅力です。僕は岩手を探究の先進県にしたいんです。みんなが全力で活動すれば、高校生が地域の大人がもっと関わることができるはず！



現在 チームの中で二つのイベント案が誕生！ Slackを駆使してプロジェクトが同時に進行しています。



美術と地域課題！ Cyg art gallery から盛星を知り、タンキュー部でも参加しました。美術と地域課題を絡めた探究に取り組み中。今一番興味があるのは空きスペース × フードロス！

高橋紗弥さん
坂本鳴海さん
盛岡一高 2年生

中津川沿い、川原橋をぐるりと。
工房蟻、よしこさんとのお散歩。



小
さ
い
旅

同じ服をいっぱい作るより、フィーリングで一着を作りたい、って感じだったんだよね、そのころは。だから、kasiさんじゃなかったらわたしはやらなかったなあって思う。で、やってみて、あれよあれよと今ですよ、2022年（笑）今の工房の場所にきたのは20年くらい前。

「あ、飛行機だ！南に行くのかな。夏の雲だね、あ、ここ下申だよ。さっきの橋の名前書いてある！御殿（おんまや）橋だ、こっちが川原橋、大沢川原の川原の字とおんなじ」 「これ、銀杏。黄色くなったらきれいね。銀杏拾えるよ（笑）」 「あ、いい風が吹いてきた。カーテンが揺れてるところは岩女ね。こちら側の川沿い、何気に静かでよいんだよね、日常感があるという。上の橋側は觀光ならおさすめだけど。もっとほっとする、肩の力が抜けるの。」

全編はこちらから https://liters.jp/michikusa_ari/ →

かめくさい

岩山と言えばパークランドも
フォトジェニックでたのしいスポット。

よ市でペアレンが飲めて良かった。私が盛岡に住みたいと思ってるのは市があるからです。そのよ市にこれでよかったです。

よでアレンが飲めて良かった。私が盛岡に住みたいと思ってるのは市があるからです。そのよ市にこれでよかったです。

よでアレンが飲めて良かった